

地域とともに歩む学校の創造

～学校・保護者・地域住民との双方向の連携をめざして～



平成26年度 「地域とともに歩む学校の創造」研究の取組

■ 学校名 横浜市立美しが丘西小学校

■ 学校長 生出 宏

■ 所在地等

横浜市青葉区美しが丘西2丁目48番地 1 電話:045 (902) 0450

FAX:045 (902) 0452

■ 学校教育目標

豊かな『感性』と確かな『学び』

【知】自ら学び、考え、ともに学び（高め）合う子どもを育てます。

【徳】さまざまな学習活動を通して感性豊かな子どもを育てます。

【体】健康で安全な生活ができる子どもを育てます。

【公】人と人、地域とのつながりを大切にする子どもを育てます。

【開】国際社会へと視野を広げる子どもを育てます。

■ 学校の状況

児童数 848名 学級数 27学級（一般級25 個別支援級2） 平成27年1月現在

横浜市立美しが丘西小学校

2 美しが丘西小学校 学校運営協議会設置のねらいと方向性

学校運営協議会は、保護者や地域住民等が一定の権限をもって学校運営に参画することを通じ、地域に開かれた信頼される学校づくりを進めるとともに、より良い教育の実現をねらいとして設置する。

(1) 学校運営への権限と参画（教育委員会冊子より）

- ①学校経営（中期学校経営方針など）の基本的な方針の承認を行う。
- ②学校の運営に関して、教育委員会又は校長に対して意見を述べることができる。
- ③教職員の採用その他の任用に関する事項について、意見を述べるができる。

(2) より良い教育の実現

子どもの学びについて、様々な立場からの意見・提案など
子どもの学びがどうあるべきか（家庭では・地域では・学校では）
実現可能なことは何か（長期的な展望で）

①学校からの情報発信

- ・学校行事への積極的な招待
- 運営協議会委員へのお知らせや予定表の配付
(入学式、卒業式、運動会、音楽集会、授業参観、書き初め展、夏休みの作品展、クラブ発表会、学校を開く週間、その他)

②学校関係者評価委員会として

- ・中期学校経営方針の説明
- ・学力学習状況調査（国・横浜市）の説明
- ・授業アンケート、保護者アンケートについて

③より良い教育の実現のための取り組み

3 学校運営協議会運営組織

○学校運営協議会<13名>

地域住民(4名:自治会長・自治会役員・自治会相談役・学援隊隊長(おやじの会会長)、保護者(3名:PTCA委員長・PTCAサポーター・元石川小PTA会長経験者)、学識経験者(2名:大学教授・高校教諭)、学校関係者(4名:校長・副校長・教務主任・児童支援専任)で構成する。

学校運営協議会委員

| | |
|---------|-------------------------|
| 【地域住民】 | 近藤 孝 (美しが丘西保木自治会 会長) |
| | 横倉 眞 (美しが丘西保木自治会 役員) |
| | 飯島 行夫 (美しが丘西保木自治会 相談役) |
| | 溝端 英司 (学援隊隊長・おやじの会 会長) |
| 【保護者】 | 田中 勉 (本校PTCA委員長) |
| | 根本 容子 (本校PTCAサポーター) |
| | 三浦 幸奈 (元石川小学校PTA会長経験者) |
| 【学識経験者】 | 新富 康央 (國學院大学教授・人間開発学部長) |
| | 阪口 裕昭 (慶応高等学校体育会副理事) |
| 【学校】 | 生出 宏 (校長) |
| | 高島 聡 (副校長) |
| | 稲田 直史 (主幹教諭・教務主任) |
| | 吉田 誠 (主幹教諭・児童支援専任) |

4 今年度の研究のあゆみ

第1回 5月22日(木) 18:00～ 委嘱式・中期学校経営方針の説明など



今年度最初の学校運営協議会では、担当指導主事より運営協議会委員に委嘱状が渡された。その後、学校長が委員に本校の中期学校経営方針を説明し、運営協議会の規約等についても確認を行った。本校の運営協議会

会のスタートとなるこの日は、各委員より学校経営や本校児童への教育に対するご意見をそれぞれの立場でお話いただき、さまざまな方向から今後のよりよい学校のあり方や地域との連携について模索することができる会となった。

第2回 6月14日（土）11：00～ 土曜授業参観および意見交換

運営協議会委員の皆様にご参観の授業をみていただいた。特に、本校の今年度の重点研究の柱となっている「小集団の学び」に注目していただき、「コミュニケーション力の向上にとってもよい取組である」「個々の子どもを生かすために有効な学習方法であるから、今後も地道に子どもの学ぶ力を高めてほしい」などの、学びの様子やその可能性についてご示唆や励ましをいただいた。また、当日の給食を委員の皆様にも実際に召し上がっていただき、本校の食育についても理解を深めていただくことができた。



第3回 8月29日（金）13：30～ 本校児童との意見交換会



夏休み明けのこの日には、児童の委員会活動の委員長が参加し、委員の方々と意見交換を行った。まず、各委員会の活動報告から、開校2年目の本校が子ども自らの手で充実した学校にしようとする具体的な取組について話し合った。

委員の方々からは「発表の内容がすばらしい」「それぞれの分野で君たち自身の手でさらに学校をみんなの輝ける場所にしてほしい」などのご意見をいただいた。また、学校長より、横浜市学力・学習状況調査の生活意識調査に関して、地域行事に参加すると回答した児童の割合が市の平均を20ポイント程度下回っていることについて問題提起があり、参加者全員でその原因と今後の対策について話し合った。児童からは「行事を朝会やポスター等で全校に知らせればいい」「参加した感想などを発表する機会をつくり、そのよさを伝えたらどうか」などの意見が出され、委員である自治会長様からも「行事の日時や趣旨が子どもによく伝わるよう、さらに工夫をしたい」というご意見をいただいた。本校の児童と委員が直接学校運営について意見を交換するたいへんよい機会となった。

第4回 11月26日（水）17：30～ 学校行事の反省・授業等の学校評価アンケートについて



26年度も中盤を過ぎ、それまでの学校行事や学習活動、子どもの様子等を委員の皆様と振り返った。運動会については、終了後まもなくの協議会開催だったこともあり、活発な意見交換がなされた。学校が実施した運動会に関する保護者アンケートをもとに子どもの姿を評価していただき、来年度以降についても今年度の取組を続けていくよう、助言をしていただいた。また、日頃の子どもの落ち着いた学習の様子から、日々の授業の着実な積み重ねを今後も続けられるよう、ご意見をいただいた。また、年末に実施を予定している学校評価アンケートについて目を通していただき、評価項目についてご確認をいただいた。

第5回 2月26日（木）18：00～ 学校自己評価についての検証（学校関係者評価委員会として）

26年末に実施した保護者対象の学校評価アンケートから、学校としての自己評価を行い、その結果をもとに、「学習」「児童指導」「学校行事」「地域行事」を主な視点として、今年度の成果と来年度に向けた課題を明らかにしていった。いただいたご意見を中期学校経営計画の修正に役立て、開校3年目となる平成27年度のよりよい学校経営に生かしていくようにする。

5 今年度の成果と27年度に向けて

【成果】

- ・授業参観や学校行事において、年間を通して運営協議会の皆様に子どもたちの姿を見ていただくことで、本校の教育活動をご理解いただくとともに、その価値付けを行っていただき、新たな課題や努力点を具体的に明らかにすることができた。
 ⇒授業や行事で子どもたち自身が創立間もない本校をよりよい学校にできるよう、日々努力を積み重ねていること。
 ⇒小集団学習を継続して、一人ひとりの児童が活躍できる授業づくりを行うとともに、コミュニケーション能力をさらに高める必要があること。
 ⇒学校と保護者、地域の連携をよりいっそう深めるために、学校が情報をさらに進んで発信したり、地域・保護者の方々が学校に足を運べる機会を増やしたりすること。
- ・第3回協議会の後、地域の秋祭りや美しが丘西小学校地域防災拠点防災訓練の実施について子どもたち自身が参加を呼びかけ合う機会を設けた結果、参加数が昨年度比で大幅に増えた（特に地域防災訓練）。
- ・保木太鼓、シクラメンづくり、消防団、まちのパン屋さん、スーパーなど、地域の文化財や施設、店舗、ひとと連携した教育活動を昨年以上に強化することができた。

【27年度に向けて】

- ・今年度の学校運営協議会の成果をもとに、定期的実施される協議会の内容をさらに地域・保護者の方々に情宣し、「地域とともに歩む学校・美しが丘西小学校」の創造を推し進める。
- ・教職員一人ひとりが上の目標を意識し、授業づくりに地域の材を生かしたり、地域行事とのかかわりを考えたりできるような体制づくりを行う。

6 美しが丘西小学校 学校運営協議会組織図

